【音楽・小６・「いろいろな音色を感じ取ろう」】①

育成を目指す資質・能力

自分たちの演奏を録音して聴くことで、声の高さや発音の仕方、リズムなどで演奏が変化することに気付き、声の響きが重なる面白さを生かしてボイスアンサンブルをつくることができる。

・本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：**「音の重なり」**

ICT活用のポイント

表現をグループで工夫する場面において、**録音機能**や**ホワイトボード機能**を活用することにより、言語活動と音楽表現とを往還させ、思いや意図を膨らますことができるようにした。

事例の概要

前時までの学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。

○「ラバーズコンチェルト」を合奏したことを想起させ、パートには役割があり、役割にふさわしい楽器の音色を選んだり、音量に変化を付けたりしながら表現を工夫してきたことを振り返る。
○本時のめあてを提示し、学習の見通しをもつ。

声の響きが重なる面白さを生かして、ボイスアンサンブルをつくろう

３つのパートの役割に合う声の高さや発音の仕方を試し、「ラバーズコンチェルト」の主旋律に合わせて、工夫したボイスアンサンブルを行う。

【事例におけるICT活用の場面①】

○声の高さや発声の仕方に変化を付け、いろいろなパターンで試しながらよりよい表現を工夫する過程において、**ICT端末の録音機能**を使用する。自分たちの表現の工夫を再生して確かめ、表現したい思いや意図を膨らませる。
○主旋律のみを取り出した音源を作成し、**学習支援ソフト**を用いて児童のICT端末に配布する。それを用いて、主旋律との音の重なりを確かめながら、ボイスアンサンブルを工夫する。

工夫したボイスアンサンブルを発表し合い、よさや面白さを共有し、もっと工夫したいことを考える。

【事例におけるICT活用の場面②】

○**ホワイトボード機能**を使用して作成したワークシートに、５つのリズムパターンを付箋で示す。自分たちの思いや意図に合うように、適宜リズムを入れ替える。

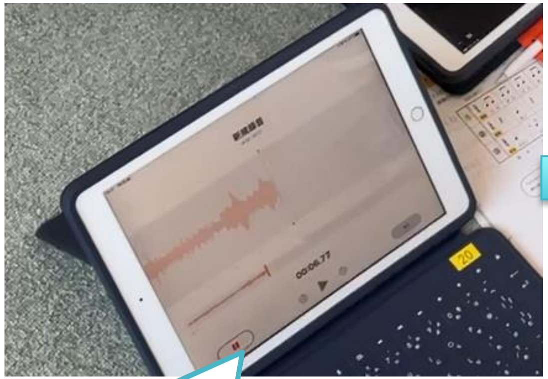
学習のまとめをし、本時の学びを振り返る。

○振り返りを**アンケートフォーム**で記述・回答させ、データ化し蓄積する。

【音楽・小６・「いろいろな音色を感じ取ろう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

声の高さや発声の仕方に着目して、ボイスアンサンブルを工夫する活動



３つのパートが重なると、打楽器でリズム伴奏しているみたいに聴こえるね。

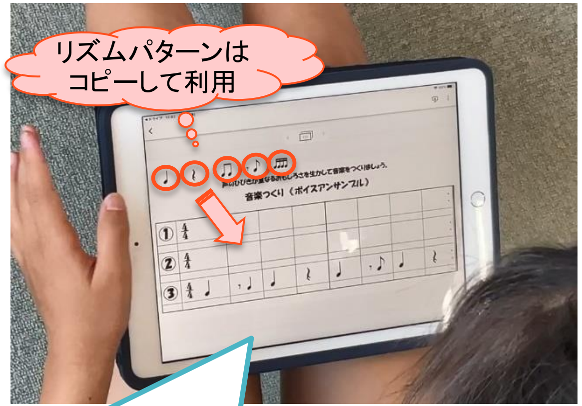
主旋律と重ねてみることで、主旋律との音の重なりがよく分かって面白いね。

○追求する過程において、自分たちの試した表現を**録音・再生**しながら、表現したい思いや意図を膨らませていった。ICT端末の活用によって、試行した表現を、すぐに聴いて確かめることができ、思いや意図（言語活動）とそれを音で試す活動（音楽表現）を往還させながら表現を練り上げていくことができていた。

○予め一人一台端末に配布した、**主旋律のみの音源**に合わせてボイスアンサンブルを試行し、それを**録音・再生**することによって、主旋律との音の重なりについても味わい、確かめながら表現を工夫することができていた。

【事例におけるICT活用の場面②】

リズムに着目して、ボイスアンサンブルをより工夫する活動



③のリズムが休符になっているところは、他のパートに細かいリズムを入れてみたら面白そうだな。

○**ホワイトボード機能**を活用し、５つのリズムパターンを付箋のように示したワークシートを使用した。リズムに変化をつけたいところを想起しながら、リズムパターンを選んで貼り、リズムの入れ替えがすぐにできるようにしていたことで、リズムを手拍子で打ったり、リズムに合った言葉をあてはめたりしながらできあがったリズム譜を確認・修正することができていた。

【活用したソフトや機能】　・学習支援ソフト　・録音機能　　・ホワイトボードアプリ